

研究情報の公開（オプトアウト）に関するお知らせ

1. 研究課題名

医師養成課程を通じた偏在対策の効果検証のための研究

2. 研究者氏名・所属：

小池 創一 自治医科大学地域医療学センター（地域医療政策部門）教授

畠山 修司 自治医科大学地域医療学センター（総合診療部門）教授

山本 祐 自治医科大学地域医療学センター（総合診療部門）講師

3. 研究の概要

3.1 目的

医師の偏在は、地域間・診療科間のそれぞれにおいて、長きにわたり課題として認識されながら、現時点においても解消が図られていない医療政策上の重要な課題の一つです。

医師偏在の解消のために、医師のキャリアパスを踏まえた対策が重要となります。本研究では、医師の地理的な移動はキャリアの初期段階においてより大きいことを踏まえ、医師養成の初期の段階での医師の診療科・勤務先の状況を明らかにするとともに、臨床研修終了時の診療科や勤務地に関する意向と、その後の勤務地や診療科選択にどのような影響を与えているかを明らかにすることで、医師養成課程を通じた偏在対策の効果検証を行うとともに、今後の政策立案を行う上での基礎資料を得ることを目的としています。

3.2 方法

医師は、その勤務の状況（勤務地、勤務先の種別、従事する診療科等）を2年に一度厚生労働省に届出ることになっていますが、その際の届出票と、厚生労働省が実施する臨床研修修了者アンケート調査データを厚生労働省から許可を得て分析を実施します。

3.3 研究対象者について

本研究の対象者は、厚生労働省に平成24～令和2年の間に医師届出票を提出された医師の方、平成22、24年、31年、令和元年、2年に臨床研修修了者アンケートに回答された医師の方が対象となります。

本研究は、すでに行われている調査データを国から所定の手続きを得て研究目的のために入手、データ解析を詳細に行う研究ですので、元々の調査対象である医師の方に対して本研究の実施に伴って新たに何らかの調査を行うものではありません。

3.4 研究期間

臨床研究許可決定後～令和6年5月31日

4. 研究が行われる機関または実施場所

自治医科大学地域医療学センターで実施いたします。

5. 研究における倫理的配慮及びオプトアウトについて

国が集めた調査の調査票情報は、厚生労働省の審査・許可を得た上で、研究者がデータの利用を行うことが出来ることとされています。本研究では、医師届出情報及び臨床研修修了者アンケート調査の調査票を厚生労働省から許可を得て入手・分析するものです。医師届出票には、医師氏名、生年月日、市町村以下の住所に関する情報が、臨床研修終了者アンケートの回答用紙には、氏名が記載されていますが、これらの情報は厚生労働省から研究者には提供されません。データは統計的に処理されるため、個人の医師の氏名が公表されることはありません。

本研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研事業）「医師養成課程を通じた偏在対策の効果検証のための研究」（令和 3～5 年度）の一部として実施され、自治医科大学医学系倫理審査委員会の審査・承認（臨大 22-143 承認日 2022 年 12 月 22 日）を得ております。研究成果は、研究報告書、学術論文、学会発表等を通じ公表を予定しています。

なお、研究のために自分のデータが使用されることを望まれない方は、本研究に関する連絡先までお知らせください。

6. 本研究に関する連絡先：

研究内容に関わること

自治医科大学地域医療学センター（地域医療政策部門）

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

電話: 0285-58-7472 Fax 0285-44-0628 e-mail: dhpm@jichi.ac.jp

苦情申出先

自治医科大学附属病院 臨床研究センター管理部（電話：0285-58-8933）